

まちづくり メールニュース

Vol. 287
(R04.05.27)

北海道開発局都市住宅課
まちづくり相談窓口

まちづくりに関して紹介したい地域の取組、配信アドレスの変更等については、
まちづくり相談窓口(メールはこちら)まで **※配信希望も随時受け付けております。**

今号の記事

…各記事のタイトルをクリックすると、記事掲載ページへジャンプします

- [国営滝野すずらん丘陵公園 グリーンシーズンオープン](#)
- [ガーデンフェスタ北海道2022](#)
- [住まいのまちなみコンクール](#)

- 【施設紹介】
- 【その他(お知らせ等)】
- 【その他(お知らせ等)】

開発局HPにアンケートフォームを作成しました！是非、皆様の感想をお聞かせください。
[まちづくりメールニュースアンケート](#)

国営滝野すずらん丘陵公園 ～グリーンシーズンオープン！！～ 令和4年4月20日～令和4年11月10日

国営滝野すずらん丘陵公園は、グリーンシーズンの営業中です。
新型コロナウイルス感染拡大防止のための取り組みを継続しながらの運営となります。
お客様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

400ヘクタールに「花」「森」「遊び」がたっぷり！

公園内は、大きく4つのゾーンに分かれており、
季節の移り変わりとともにさまざまな「花」「森」「遊び」を楽しめます。



滝野の森ゾーン 【西エリア】自然博物館

豊かな自然あふれる森の中では多くの山野草や生き物を観察したり、開拓の歴史の跡を見ながらトレッキングを楽しむことができます。

- 森の情報館
- 田んぼの広場
- 森の観察デッキ

滝野の森ゾーン 【西エリア】自然博物館

滝野の森ゾーン 【東エリア】

バリアフリーの園路やベンチ、森に親しめる道具があります。森歩きに慣れていない人や小さなお子様でも森の散策を楽しむことができます。

- 森の交流館
- 森の放事広場
- ローラー滑り台
- 森の教室
- 森見の塔
- 青少年山の家(宿泊)

滝野の森ゾーン 【東エリア】



溪流ゾーン 入園無料

厚別川に沿って広がるゾーンです。4つの滝を巡ったり、厚別川で遊んだり、緑の中で一日中楽しめます。サイクリングやバーベキューなど、このゾーンでしかできないアクティビティも魅力です。

- アシリベツの滝
- 炊事コーナー(3か所)
- 鱒見の滝
- バイクステーション(レンタサイクル)
- 不老の滝(閉鎖中)
- 白帆の滝
- 釣堀フィッシング・タキノ
- 滝野公園案内所

中心ゾーン

中心ゾーン

四季折々の花、冒険心をくすぐる大型遊具などがあり、子どもから大人まで楽しめるゾーンです。キャンプ初心者でも安心なオートキャンプ場もあります。

- カントリーガーデン
- オートリゾート滝野(キャンプ場)
- こどもの谷
- 森のすみか
- つどいの森(芝生広場)
- カントリーハウス

縮尺(1:2500)

イベントぞくぞく！！

春、夏、秋に開催予定の主なイベント

※変更になる場合もございますので、お出掛けの前に下記ホームページでもしくはお電話にてご確認ください。

<https://www.takinopark.com/> (他のイベントも載っています。)

TEL:011-594-2222

チューリップ・すずらんフェスタ:2022年5月14日 @ 9:00 AM - 2022年6月5日 @ 6:00 PM



チューリップフォトコンテスト

◎開催期間 5月14日(土)～6月5日(日)

◎募集要項 期間内にInstagramにチューリップの写真を「#滝野チューリップフォトコン2022」投稿いただきスタッフが選んだ10枚を公園のSNSに投稿者のアカウント名を記したリポストで投稿いたします。
カントリーガーデンの上段「虹の丘」では色ごとに分けられたチューリップが虹のように咲きます。
カントリーガーデンの下段「彩の丘」では様々な色のグラデーションを楽しめます。

不思議なチューリップを探せ！

◎開催日 4月29日(金祝)～6月5日(日)

◎時 間
解答用紙配布
4月29日～5月31日
9:00～16:00
6月1日～6月5日
9:00～17:00
解答用紙の投函
4月29日～5月31日
9:00～17:00
6月1日～6月5日
9:00～18:00

◎開催場所 中心ゾーン
(解答用紙の配布:東ロゲート、中央ロゲート)

◎定員 なし

推奨年齢 上級コース:小学校高学年以上
初級コース:4歳～小学校低学年

◎参加費 無料



ガーデンフェスタ北海道2022

恵庭市にある道と川の駅「花ロード恵庭」に隣接している都市公園「花の拠点はなふる」をメイン会場にした「第39回全国都市緑化北海道フェア（愛称：ガーデンフェスタ北海道2022）」が、令和4年6月25日～7月24日の期間で開催されます。

都市緑化フェアとは、都市緑化意識の高揚や都市緑化に関する知識の普及、国、地方公共団体、民間の協力による都市緑化の全国的な推進、緑豊かな潤いのある都市づくりの実現を目的として昭和58年度から毎年、全国各地で開催されています。

第39回となる今年は「花と緑～恵みの庭を人がつなげる北の大地から」を開催テーマに、メイン会場の他、まちなか会場や恵庭市内外の協賛会場にて様々なイベントが予定されています。



北海道花めぐり・庭めぐり

～「ガーデンフェスタ北海道2022」協賛会場のご紹介～

北海道の各地で花と緑の文化に触れていただけるよう、道内各地の国営・道立公園、民間の庭園等32箇所を「協賛会場」としてネットワークを構築しています。

メイン会場と各協賛会場では、「ガーデンフェスタ北海道2022」開催を記念して、各会場の特徴や見どころを掲載した特製「ガーデンフェスタカード」を配布します。

☆協賛会場の一つをご紹介します。

協賛会場は全道にございますので、詳細は下記のURLからご確認ください。

ぜひ、お気に入りの庭園・公園を見つけて、北海道花めぐり・庭めぐりに出かけ下さい。

ウポポイ(民族共生象徴空間)



所在地：白老郡白老町若草町2丁目3
電話：0144-82-3914

ウポポイ(民族共生象徴空間)は日本の貴重な文化でありながら存立の危機にあるアイヌ文化の復興・発展のための拠点となるナショナルセンターです。豊かな自然に抱かれたポロト湖のほとりで、アイヌゆかりの植物の植栽やアイヌ文化の多彩な魅力に触れることができます。愛称「ウポポイ」は、アイヌ語で「(おおぜいで)歌うこと」を意味します。



北海道観光PR
キャラクター
「キュンちゃん」
ガーデンフェスタ
ver

[URL- ガーデンフェスタ北海道2022 \(garden-festa2022.jp\)](https://garden-festa2022.jp)

第18回住まいのまちなみコンクール (募集)

人口減少社会の中、まちの価値の落ちない、選ばれる地域づくりが求められています。「住まいのまちなみ」は、地域の方々が積極的に維持管理、運営することで、豊かな暮らしの場へと育まれていきます。また、高齢化や防災・防犯、低炭素化などの社会的課題に対応しながら、多世代がともにまちの価値を守り育て、住み継ぐことができるまちとしていくことが大切です。このためには、地域の管理や交流活動のほか、空家の利活用等による地域の活性化、新たな入居者の受け入れを含むコミュニティの形成など、多様な取り組みが必要となります。

国土交通省では、本コンクールにおいて、地域の特性を活かし、魅力的な住まいのまちなみを育む維持管理、運営などの活動に実績を上げている住民組織をまちづくりのモデルとして表彰し、後援しています。

募集期間：2022年5月1日（日）～2022年8月31日（水）必着
入選発表：2023年1月
☆維持管理活動の推進のために年50万円を3年間支援します☆
※支援：受賞団体（5団体を予定）

良好なまちなみの維持管理 運営に
 取り組まれている住民組織を表彰・支援します
 受賞団体(5団体を予定)には、年50万円を3年間 維持管理活動の推進のために支援します

募集期間
 2022年5月1日(日)～
 2022年8月31日(水) 必着
 入選発表 2023年1月

見てみたい みんなが笑顔で暮らすまち

持続可能な環境を受け継ぐみんなの未来区
 第17回 住まいのまちなみコンクール
 サングラ(三島市立青年学舎管理組合 代表 藤原 幸太郎)

2022年度 国土交通省 第18回 住まいのまちなみコンクール
 入選発表 2023年1月

底先からまちへ広がる花のじりどり
 第17回 住まいのまちなみコンクール
 入選発表 2023年1月

家族の集りが住みやすい町区
 住民が一体となって取り巻く地域に誇りあふれるまちなみはそこに暮らす人たちの日々の営みにより、木が年輪を刻むように豊かに進化していきます。住民の主体的な活動で育まれた、ひとつしかない自慢のまちなみを紹介してください

見晴らし良好 すっきり広がる空とまちなみ
 第17回 住まいのまちなみコンクール
 入選発表 2023年1月

歩くことが楽しく思える緑豊かなまち
 第17回 住まいのまちなみコンクール
 入選発表 2023年1月

漂とした空気に心洗われる歴史のまち
 第17回 住まいのまちなみコンクール
 入選発表 2023年1月

https://www.machinami.or.jp/

表彰 国土交通大臣賞1点、住まいのまちなみ賞4組以内を決定予定。
 ※賞状額金は、50万円(団体1団体あたり)を3年間、維持管理活動の推進のために支援します。

審査委員会
 審査委員長 大月敏道(東京大学教授)
 審査委員 岡田昭人(まつくりファンタジー) 藤木実人(神戸商工科大学客員教授) 坂井文彦(京都府立大学客員教授) 渡辺 伸(作家 黒川 彌太郎) 国土交通省国土利用政策課長 藤原 幸太郎(国土交通省) 国土交通省大田区若葉管理組合(代表 藤原 幸太郎)

主催 国土交通省国土利用政策課長 国土交通省大田区若葉管理組合
 後援(共) 国土交通省、独立行政法人住宅政策院客員教授、独立行政法人都市再生機構、一般社団法人住宅政策院客員会、公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会、一般社団法人ハウジング・アクト・コミュニティ財団
 協賛 昭和化成ホームズ、スーダンハウス、住友林業、清水化学工業、清水ハウス、大和ハウス工業、トヨタホーム、パナソニックホームズ、ミナパーク、三井ホーム、建設業振興会、国土交通省

2022年度 第18回 住まいのまちなみコンクール

同コンクールで全国95団体(個人)が受賞しています

住まいのまちなみとは、人口減少社会において、豊かな暮らしの場へと育まれていくまちづくりを指します。このように豊かな暮らしの場へと育まれていくまちづくりを指します。このように豊かな暮らしの場へと育まれていくまちづくりを指します。

審査基準

応募資格

維持管理活動の支援

選考方法

競争の主なポイント

応募書類の提出

応募書類送付先(郵送またはメール)問い合わせ先

募集要項・提出様式・過去の審査結果など、詳細につきましては、下記のURLからご確認ください。

https://www.machinami.or.jp/pages/contest_guideline18.shtml